

# 斑点米カメムシ情報第1号

平成23年6月30日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 1 発生状況

6月下旬の巡回調査（県内104ほ場）において、水田周辺の畦畔における捕虫網20回振りによる斑点米カメムシ類の捕獲数は10.04頭（平年5.23頭）と平年より多い状況です。特にホソハリカメムシ（図1）0.16頭（平年0.09頭）、カスミカメムシ類（図2）9.86頭（平年4.80頭）が平年より多くなっています。また、予察灯における斑点米カメムシ類の誘殺数は、一部の地域で、平年に比べやや多くなっています（図3）。

6月下旬の巡回調査で、ミナミアオカメムシは捕獲されていませんが、他の斑点米カメムシ類と同様、水稻が出穂すると水田へ侵入して加害を始めますので、注意しましょう。

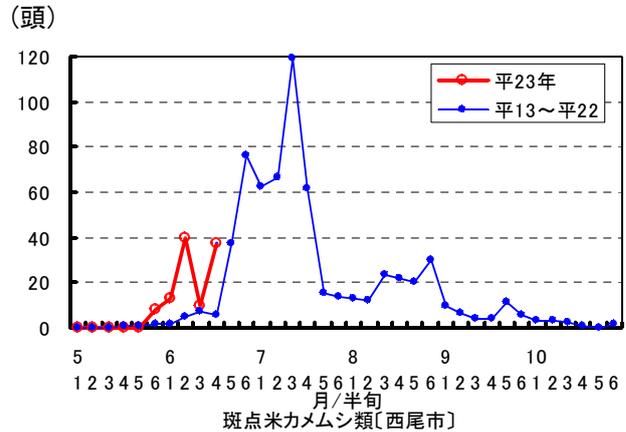


図1 ホソハリカメムシ成虫 図2 アカスジカスミカメ成虫 図3 予察灯における斑点米カメムシ類の誘殺数

## 2 防除対策

カメムシ類は水田周辺の畦畔や土手などのイネ科雑草などで増殖するため、除草に努めましょう。しかし、出穂期間際の除草はカメムシ類を水田に逆に追い込むことになるので控えてください。また、水田内で穂をつけたヒエ類は、カメムシ類の発生を助長するので除去しましょう。

出穂期に畦畔雑草や水田内でカメムシ類を確認したら、穂揃期に薬剤防除（表）を実施し、その後も発生が多い場合は7～10日後に再度防除を実施してください。

表 斑点米カメムシ類に対する主な防除薬剤

薬 剤 名
ト レ ボ ン E W
ス ミ チ オ ン 乳 剤
キ ラ ッ プ L 粒 剤
ダ ン ト ツ 粒 剤
ス タ ー ク ル 粒 剤 、 ア ル バ リ ン 粒 剤